

2017年7月号  
FP武蔵野グループ



伏石 知子（CFP®認定者）

## 豪華客船の旅ブーム来る！！

ここ数年日本を周遊するクルーズ船が増えています。2017年の今年はずっと調べただけでも4隻あります。ダイヤモンド・プリンセス（約11万トン）、コスタ・ネオロマンチカ（約5万7千トン）、MSC スプレディダ（約13万トン）、スーパースターヴァーゴ（約7万5千トン）です。このほかに日本船籍の飛鳥Ⅱ（約5万トン）は通年運航していますし、クイーン・エリザベス（約9万トン）なども単発で日本から出港します。

クルーズ船と一口に言っても大きさは色々あります。今運航している中で、最大の船は22万トン。船内には公園やお店が立ち並び、迷路のように感じられるでしょう。これこそ動く街です。小さな船はリバークルーズ船用で1200トンから2700トンクラス。河底は海に比べて浅いので大きなクルーズ船は航行できないのは当たり前です。小さな船にはお店などはありません。ゆっくり移り行く河辺の景色を楽しむのでしょうか。

初めて乗船する時にどの位の大きさの船を選ぶかによって、今後のクルーズの旅に関わってくるようです。

参考までに11万トンクラスの船は全長290メートル。高さ54メートルで18階まであります。客室は9階から14階までで乗客定員は2706人です。

夕食はレストランと時間、テーブルが乗船時に決められていますが、交渉次第で変更可能のようです。

レストランは4か所。メニューはすべて同じです。時間は初回が17:30、二回目が20:30~40となっています。最初では早すぎ、二回目では日本人的には遅

すぎる感があります、が一応 2706 人分のテーブル分けするので仕方ないのかなと思います。ちなみに二回目の遅い食事時間帯には外国の方が多いようです。自分のペースで食事をしたい方にはブッフェレストランがあります。こちらは席が決まっていないので、同じ行動をする方が多いと席にあぶれる危険があります。

その他に有料レストランが何か所かあります。早めの予約が必要になります。船の食事に関してですが、パンは毎日手作りされています。一日に使用される小麦粉は平均 1200 ポンド、一日に出されるフルーツは平均 3000 ポンド、一日に消費されるコーヒーは平均 360 ガロンとの事。単位が大きすぎて想像を超えています。一日に洗われる食器は平均 70,000 皿、一日に洗われるグラスは 24,000 個。厨房関係の方は大変ですね。

船の上では時間がゆっくりと流れていきます。デッキで本を読むことは船旅では定番です。アクティブに過ごしたい方は、輪投げや卓球、パターゴルフなどに参加されるのも良いですし、ボックス作りのクラフト教室に参加されるのも良し、ズンバ教室で踊るも良し、社交ダンスを習うのも良しとやりたいことを自由に出来るのが船旅です。盆踊りもあります。

日本を周遊する客船が増えていますので、クルーズ代金もだいぶ下がってきています。三人目、四人目無料となる船室もありますので、今年の夏休みはもう間に合いませんが、来年の夏旅行の計画の中にクルーズも入れてみてください。思っているより安価で体験できることでしょう。

余裕のある方にはバスタブ付きのスイートルームもありますので、予算に応じて選ぶことができますよ。

以上